

令和8年度ふれあいトーク議事録（窪地区）

日時 2026/8/18 19:00～20:08

場所 旧JA窪支所

出席者 22名

市長、政策統括監 総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、
防災・危機管理監、消防監理監、地域振興課、地域担当職員

進行 19:00～19:01 出席者紹介

19:02～19:04 市長あいさつ

19:04～19:40 市政の概要について（市長説明）

19:41～20:04 意見交換

20:04～20:08 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	■企業誘致について 企業誘致について。高岡では戸出のインターの近くに大きい土地を活かして企業誘致をしているが、氷見はそういう大きいところはあるのか。	■産業振興部長 氷見インター周辺もあるが、地盤が柔らかく 製造業のように重いものに耐えられるような造成はできない。企業の職種に応じて対応していきたい。相談は来ており、企業のオーダーに従って土地を調べるなど、企業誘致の方を進めているところである。お知り合いで探している方がいたらしゃれば、私共も対応していく。
2	■外国人の数について 氷見市の人口は広報にのっているが、氷見市に住んでいる外国人は発表されているか。	■市民部長 外国人登録者は令和8年1月1日現在で684人、人口に占める割合としては約2.7%で、氷見市の人口に含まれている人数である。
3	■人口減少について 人口が減るというのは、若い女性が外へ出て行って、氷見で結婚しないから人口が減ると言われていると思うが、女性が氷見にとどまるような事業や政策はたくさんあるのか。	■産業振興部長 総合戦略の中でもあるように、女性が好むような職種について企業誘致していきたい。既存の企業の中でも女性が働きやすい環境づくりを行う企業に対して補助する形で市としても支援していく。女性が住みやすい、働きやすい氷見を作っていくための支援を今年度から特に力を入れてやっている。 ■市長 氷見市の子育て支援は県内でもトップクラスであり、しっかりPRしていきたい。
4	■避難所について 災害時の避難所として学校の体育館を使うと思うが、暑い時期はクーラーがある教室を使ってもいいのか。暑い時期寒い時期の対処法はあるのか。	■防災・危機管理監 小中学校では、南部中学校体育館には冷房がある。今年度に北部中学校も整備予定で、毎年1校ずつ整備予定である。冷暖房対策として、スポットクーラーが60個、大型扇風機60個、ジェットヒーター40個、ブルーヒーター50個、石油ストーブ60個を市で所有しており、必要な場所に配置して対応している。 ■政策統括監 開放できる教室は開放するルールになっているので、安心して避難していただきたい。 ■市長 避難所の資機材については、必要数を算出して不自由のないようにしたい。トイレ・キッチン・ベッド・シャワーなども世界の防災基準に近づくよう取り組んでいきたい。

5	■小学校のグラウンドの管理について ラジオ体操のため窪小グラウンドを使った際、雑草が多く生えていた。地区のものは地区で除草するが、学校は誰が管理しているのか。 私たちもできる範囲で協力はできる。	■教育次長 学校の先生や児童が草むしりしているが、追いつかない現状である。お困りであれば学校教育課に連絡してほしい。年3回ほど管理業者に委託している。 ■政策統括監 グラウンドはスポーツ少年団がボランティアで草むしりすることもある。
6	■空き家対策について 空き家が増えていて危険。管理者不明、鍵もかかっていないところもあるが、地区が踏み込んでいいかわからない。行政が条例を制定するなど踏み込んだ対応してほしい。万が一火災の原因になったりしたら大変である。これまでも市に相談しているが、解決策が見えてこない。真剣に考えてほしい。	■企画政策部長 昨年度、空き家の計画を改正した。相談体制を強化し、所有者不明の場合は行政代執行による解体も行っていく。未来戦略課や移住応援センターに相談いただければ、現地確認もする。
7	■外国人との共生について ある会社の従業員として多くの外国人が住んでいるが、仏生寺川で釣りしているのを見かける。交流がないから、何を思っ何をしていいのかわからない。できれば自治会から声をかけて彼らと交流をもちたいが、おそらく言葉が通じない。行政でも、地域住民と外国人がコミュニケーションをとる方法を検討してほしい。	■企画政策部長 多文化共生については、今後外国人はますます増えてくると思われるので、どうやったら外国人の方と共生していけるかは課題だと思っている。総合計画の後期基本計画にそういった取り組みも入れていきたい。
8	■日本語教室開催の周知について 氷見に住んでいる外国人に日本語を教えるボランティアをやっている。地震で働く場所がなくなったから氷見へ来ているという人もいる。社長が外国人従業員を連れてやってくることもある。日本語が話せた方が地域住民と交流できていい。市からも企業へ日本語教室を案内してほしい。	■産業振興部長 去年の実績を見ても、日本語教室参加者は増えていて、ありがたいと思う。外国人同士のつながりで増えていると聞いており、ご提案のように企業へも案内していきたい。
9	■歩道の整備について ①氷見駅周辺の歩道について、中仙道の道路の歩道が狭く、段差が激しい。歩くことさえ難しいほどである。 ②その他の歩道について、最近修理されたふれあいスポーツセンター側(8番ラーメン側)も狭く、段差があるところがあり、危ない。	■建設部長 ①市道中仙道線について、現地確認の上、どのように支障があるかを把握し、対応を検討していく。 ②国道160号線について、現地確認の上、国道を管理している国へその状況を報告する。